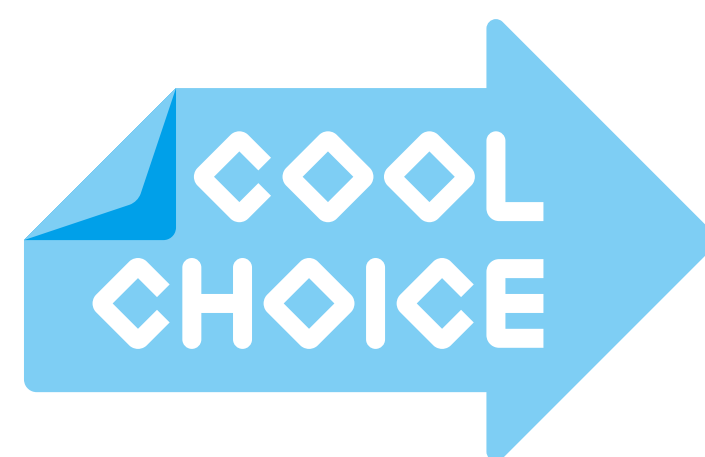


あなたも、 次のSTEPへ。



「移動」を「エコ」に。

smart
m(ove)

いつもの一歩を、未来につづく一歩へ。

その「移動」が、みんなの世界を変えてゆく。



駅に降り立つと、知らない空が広がっていた。



ゆっくり進むバスの窓に、季節が映っていた。



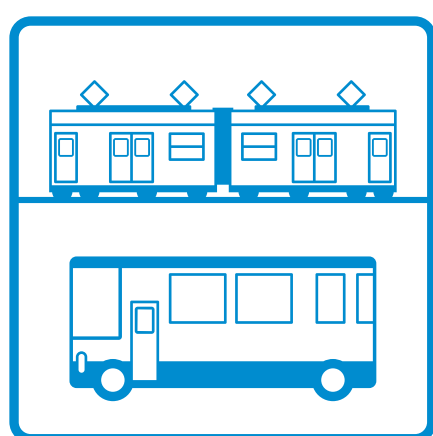
街を駆ける。自分で決めた道、風に乗って。



笑い声が包む家族の空間。私の足元が守っている。



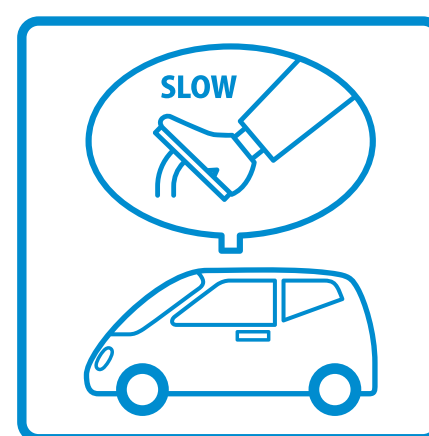
選べる楽しさ、移動を自由に。



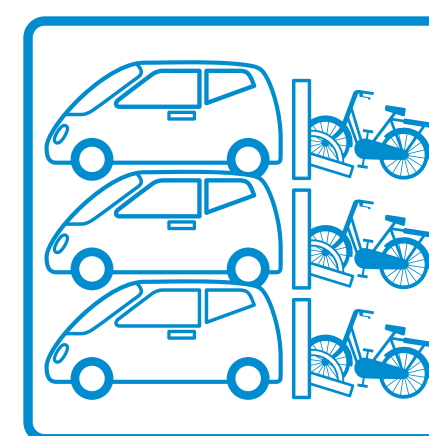
電車・バス等の
公共交通機関を
利用しよう



距離によって
自転車・徒歩で
移動しよう



エコドライブの実践、
エコカーへ
乗り換えよう



カーシェアリングや
自転車シェアを
上手に使う

自分のためにも。地球のためにも。

久しぶりの休日。献血の予約をして出掛けることにした。



今、コロナ禍で献血する人がかなり減っているらしい。

コロナのことを考えて、休日であってもなるべく外出しないように過ごしていた。このニュースを見るまでは。【「緊急事態宣言発令」以降、全ての血液型で献血の協力が減っている】という、愛知県赤十字血液センターのトップニュース。寒波の影響も受け、献血の減少に拍車をかけている状況で、厳しい在庫状況が続いているという。


日本赤十字社
愛知県赤十字血液センター

ENHANCED BY Google

[よくあるご質問](#)
[サイトマップ](#)
[お問い合わせ](#)


献血する


献血いただく方へ


血液のゆくえ


ありがとうの声


献血を広げよう


スペシャル


施設案内

[ホーム](#)
[> 最新ニュース・プレスリリース・イベント](#)
[> 献血ご協力をお願い ～「緊急事態宣言発令」以降、献血のご協力が減少しています～](#)



トップニュース


献血ご協力をお願い ～「緊急事態宣言発令」以降、献血のご協力が減少しています～


Share


Tweet


LINEで送る

[献血者へのお知らせ](#)
[トップニュース](#)
[お知らせ](#)
[重要なお知らせ](#)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う「緊急事態宣言発令」以降、特に県内の献血ルームでは一日当たりのご協力がおよそ10%減少しています。

また、寒波の影響も受け、献血ご協力の減少に拍車をかける状況となり、現在、赤血球の全ての血液型において、非常に厳しい在庫状況となっています。
この状況が続くと医療機関への輸血用血液の安定供給に支障をきたす恐れがあります。
お近くの献血会場で全血献血のご協力をお願いいたします。

献血バス運行スケジュールはこちらから。
献血ルームご案内はこちらから。
献血のご予約はこちらから。もしくは、最寄りの献血ルームまでお電話ください。
新型コロナウイルス感染症への対応についてははこちらから。

緊急事態宣言下でも 献血 は必要不可欠です。

愛知県内では、コロナ禍で献血会場の確保が非常に困難な状況です。
献血へのご協力は不要不急の外出にはあたりません。
血液を必要とする患者さんのため、継続的な献血のご協力をお願いします。

輸血を必要とする患者さんは全国で1日約3,000人。
緊急事態宣言下でも日々患者さんへ血液をお届けする必要があります。
献血は不要不急ではありません。いのちを救う活動です。
継続的な献血ご協力をお願いいたします。


過去のお知らせ

- ▶ 2021年1月
- ▶ 2020年12月
- ▶ 2020年11月
- ▶ 2020年10月
- ▶ 2020年9月
- ▶ 2020年8月
- ▶ 2020年7月
- ▶ 2020年6月
- ▶ 2020年5月
- ▶ 2020年4月
- ▶ 2020年3月
- ▶ 2020年2月
- ▶ 2019年12月
- ▶ 2019年11月
- ▶ 2019年10月
- ▶ 2019年9月
- ▶ 2019年8月
- ▶ 2019年7月
- ▶ 2019年6月
- ▶ 2019年5月
- ▶ 2019年4月
- ▶ 2019年3月
- ▶ 2019年2月
- ▶ 2019年1月
- ▶ 2018年12月
- ▶ 2018年11月
- ▶ 2018年10月
- ▶ 2018年9月
- ▶ 2018年8月
- ▶ 2018年7月

愛知県赤十字血液センターホームページより

献血は「いのちを救う活動」。不要不急の外出にはあたらないため、継続的な献血の呼びかけが強く訴えかけられていた。休日にやることもなく自宅ばかりにこもっているより、誰かのためになるのなら、気分転換にもなるし献血に行ってみよう。そう思い立って早速、献血の予約を試みた。

しかし、予約をしてからフト気がついた！「そういえば、今、クルマ修理に出しているんだっ
た・・・」。

自宅から最寄りの近鉄「弥富」駅までの足が無い。家族も予定があって出掛けるようだし。それでも、自分の住む弥富には便利な仕組みがある。【サイクル&バスライド】という取り組みだ。

バス停まで自転車で行って駐輪しておける、【サイクル&バスライド】。



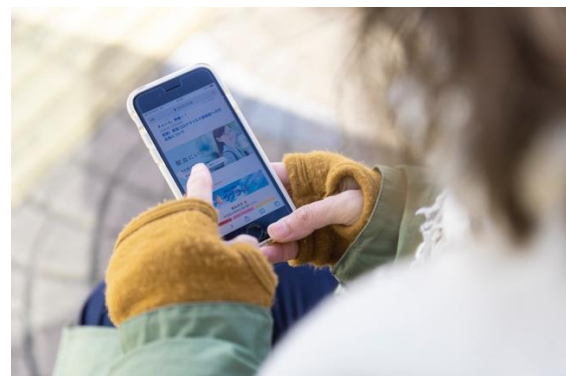
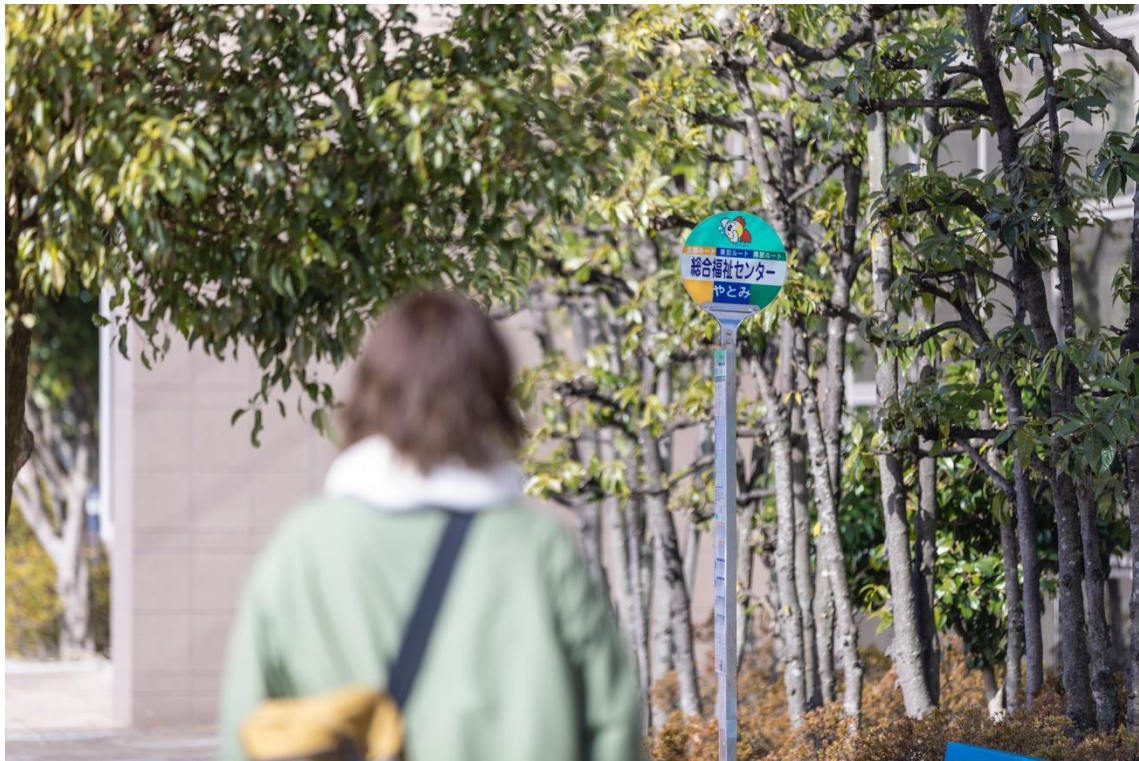
弥富市が運行するコミュニティバス「きんちゃんバス」は、北部、東部、南部の3ルートがある。自宅からの最寄りのバス停は自転車で数分の「弥富市総合福祉センター」。発車時刻を調べて久しぶりに自転車に乗ると、のどかな風が心地良い。



長年地元にいながら、【サイクル&バスライド】を利用するのは実は初めてだった。発車時刻より少し早めに駐輪場に着くと、わかりやすく看板で案内がしてある。こうやって案内がしてあると、利用する身としては本当に安心。家から近いとはいえ、歩けばそれなりに時間がかかるから、使ってみて改めてこの仕組みの便利さに気がついた。



なんでこれまで何も考えず、どこへ行くにも車で出かけていたのだろう？



ベンチに腰を下ろして、バスの時刻表と献血の予約時間とを確認した。まだ全然、余裕がある。バスを待ちながらフト思った。「よく考えたら、車よりこっちの方が便利なのかも」。地元は車社会。どこへ行くにも車に乗って出掛けるのが当たり前の毎日。でも、いざ利用してみると自転車も安心して駐輪できたし、車じゃ無いから駅前パークキングの利用料も心配いらない。パークキングの時間を気にして焦って帰ってくる必要もなくなる。

なんで何にも考えずに、どこへ行くにも車で出かけていたのだろう。
世の中にはそんなふうに、何も考えずにやっちゃまっていることがいろいろあるような気がする。気づけば、もっと便利で、もっといいコトがありそうな気がする。

【サイクル&バスライド】は、自分にも地球にも嬉しい移動手段。



コロナ禍を意識し、なるべく人の少なそうな時間帯を選んだためか、バスの車内はガラガラだった。たまに乗ったからなのかバスって意外と心地が良い。自分で運転するよりも周りの景色がよく見えて、いつもの街並みも愛おしく見える。

それに、余計なガソリンを使っていない安心感がある。毎日、車に乗ればすぐにガソリンを入れる必要に迫られる。ガソリンの使用量が減れば、CO₂の排出量も減って環境にもいい。そんなことに気づいて、移動と環境について調べてみると「スマートムーブ」という活動があることを知った。みんなが必要以上に車に乗ることを選択せずに、バスなどもっと便利な移動手段に変えるだけで、環境貢献はもっと進むのかもしれない。【サイクル&バスライド】を利用したことで、そんな気づきに出会うことができた。



【サイクル&バスライド】の取り組みは、全国的にみてもそれほど多くないらしい。CO₂ 削減による環境貢献だけでなく、渋滞緩和など特に車社会の地域には大切な仕組みかもしれない。

車が故障していなかったら出会えなかったこの気づきを大切にして、今後は車だけを移動の選択肢にせず、いつかコロナの影響が収束して来た頃には、もっと積極的に【サイクル&バスライド】を活用したいと思う。

「COOL CHOICE(=賢い選択)」にご賛同ください。

「COOL CHOICE」は、CO₂ などの温室効果ガスの排出量削減のために、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」、「サービスの利用」、「ライフスタイルの選択」など地球温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという取組です。未来の地球のために、「COOL CHOICE」に賛同して、できることから始めてみませんか？

◆ご賛同はこちらから

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/join.html>